

「全国学力・学習状況調査」の結果と今後の方策 その1 (6年生実施)

○よかった点 ▲課題のある点

国 語

○漢字を正しく読む問題（招く、信念、承知）は、比較的よくできていました。
○文中の主語を捉える問題やコラムの中で筆者が引用している言葉を見つける問題も、比較的できていました。日頃のスピーチ活動や、コミュニケーションタイムの成果が見られます。

▲漢字を正しく書く問題（浴びる、鳥の巣、病院）の正答率が低く、正しく漢字を書くことを苦手としているようです。

対策 新出漢字はもちろんですが、ぐんぐんタイム等で既習の漢字についても練習に取り組ませ、小学校で学習する漢字については確実に定着させたいと思います。

▲「読むこと」の分野の問題を苦手としている児童が多いようです。具体的には「物語の登場人物の行動から場面の移り変わりを捉える問題」や、「登場人物の気持ちの変化を想像する問題」は正答率が低いことが分かりました。

対策 篠島小学校の児童は全体的に「読むこと」を苦手としています。週3日行われる読書タイムだけでなく、様々な場面で本を読むことを推奨しながら、「読むこと」への抵抗感をなくしていきたいと思います。ご家庭でも本や新聞を読むことを進めていただくとありがたいです。



算 数

○基本的な計算問題や時刻を読む問題は大変よくできており、基礎的内容が確実に身に付いています。また、グラフに表されている事柄を読みとる問題も比較的できていました。

▲全体的に、図形に関する問題の正答率が低いことが分かりました。円や三角形の性質から角度を求める問題や、見取り図の情報から展開図の面の大きさを考える問題はあまりできていませんでした。

対策 電子黒板等を使って、視覚的に図形の特徴や性質が捉えられるよう指導方法を工夫します。また、図形問題への抵抗を減らすよう、高学年ではぐんぐんタイム等で多くの問題に触れさせていきたいと思います。

▲理由を説明する記述式の問題ができていない児童が目立ちます。答えは分かっているが、うまく説明できない児童が多いようです。

対策 語彙力・表現力の低さが原因と考えられます。国語同様、様々な文章に触れさせ、語彙力・表現力を付けられるよう指導していきます。また、日頃から篠島小学校では、発言の際にはわけや理由を発表させることを意識しています。今後も継続して取り組みたいと思います。

理 科

○メダカの雌雄を答える問題はよくできており、全体的に生命に関わる問題はよくできています。

▲グラフを基に考察し分析したり、星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察し分析したりするなどの、「科学的な思考・表現」の分野の正答率が低いことが分かりました。

対策 子どもたちの興味関心を引くような題材を準備したり、体験的な活動を多くしたりしながら、子どもたちが「なぜだろう」「調べてみたい」と探究心がわくような授業に心がけたいと思います。また、「観察と実験」などの補助教材を効果的に活用し、「考察」の過程を大切に、科学的な思考力の育成にも努力します。

☆生活習慣や学習環境に関する調査について ○よかった点 ●課題のある点

○地域行事への参加率は全国平均を大きく上回っています。また、地域や社会をよくするために何をすべきか考えている児童が多く見られました。今後も、自分のため、篠島のために努力してほしいものです。

●以下の表から分かるように、篠島小学校の児童がテレビを見たり、ゲームをしたりする時間が全国平均に比べると多いようです。また、それとは反対に、勉強する時間や読書をする時間が少ないことが分かります。テレビやゲームがいけないわけではありませんが、長時間テレビやゲームに向かうのは体によくありません。時間を少し減らし、勉強や読書の時間を増やせるとよいと思います。1日の生活を見直し、有意義な毎日を送りましょう。



■□■児童質問紙 解答結果より□■□

一日当たりどれくらいテレビ・ビデオ・DVDをみていますか		4時間以上	3～4時間	2～3時間
	篠小	23.1%	30.8%	23.1%
	全国	19.2%	16.9%	23.1%

一日当たりどれくらいテレビゲームをしますか		4時間以上	3～4時間	2～3時間
	篠小	7.7%	7.7%	46.2%
	全国	9.1%	7.9%	13.2%

学校以外で普段どれくらい勉強しますか（塾も含む）		3時間以上	2～3時間	1～2時間
	篠小	0%	15.4%	7.7%
	全国	11.1%	14.6%	37.0%

学校以外で普段どれくらい読書をしますか		2時間以上	1～2時間	0.5～1時間
	篠小	0%	7.7%	15.5%
	全国	7.5%	10.1%	20.1%

